

内科専門研修プログラム

サブスペシャリティ重点コース / 糖尿病・内分泌・代謝内科コース

(1) コースの全体像 (特徴)

大阪大学医学部附属病院糖尿病・内分泌・代謝内科は、下村伊一郎教授以下、約70名の教室員が所属し、さらに同窓会会員は500名以上に達し、日本最大規模の糖尿病・内分泌・代謝内科学教室です。「佳き主治医と医学貢献」の方針のもと、日本そして世界の医療・医学への貢献を常に目指し、多くの実績を積み上げています。

当科は全身の臓器・血管を相手にしています。すなわち、当科の領域は、全身を相手にする統合内科学としての診療学問領域という性格があります。そのため、さまざまな診療科と連携して診療に当たり、糖尿病・内分泌・代謝疾患のスペシャリストであると同時に、内科のジェネラリストとしての能力を高める研修教育も実践しています。また当科は、内科の中でも女性医師が多数在籍している診療科であり、結婚・出産・育児への対応、キャリアアップ、また教官や関連施設部長、留学と多くの女性医師が高いレベルで活躍することを積極的にサポートしています。当科のサブスペシャリティ重点コースでは、他の内科系診療科と同様、研修医の希望に応じて、できるだけ早い時期からサブスペシャリティ領域の専門研修を行い、その後のキャリア形成につなげます。



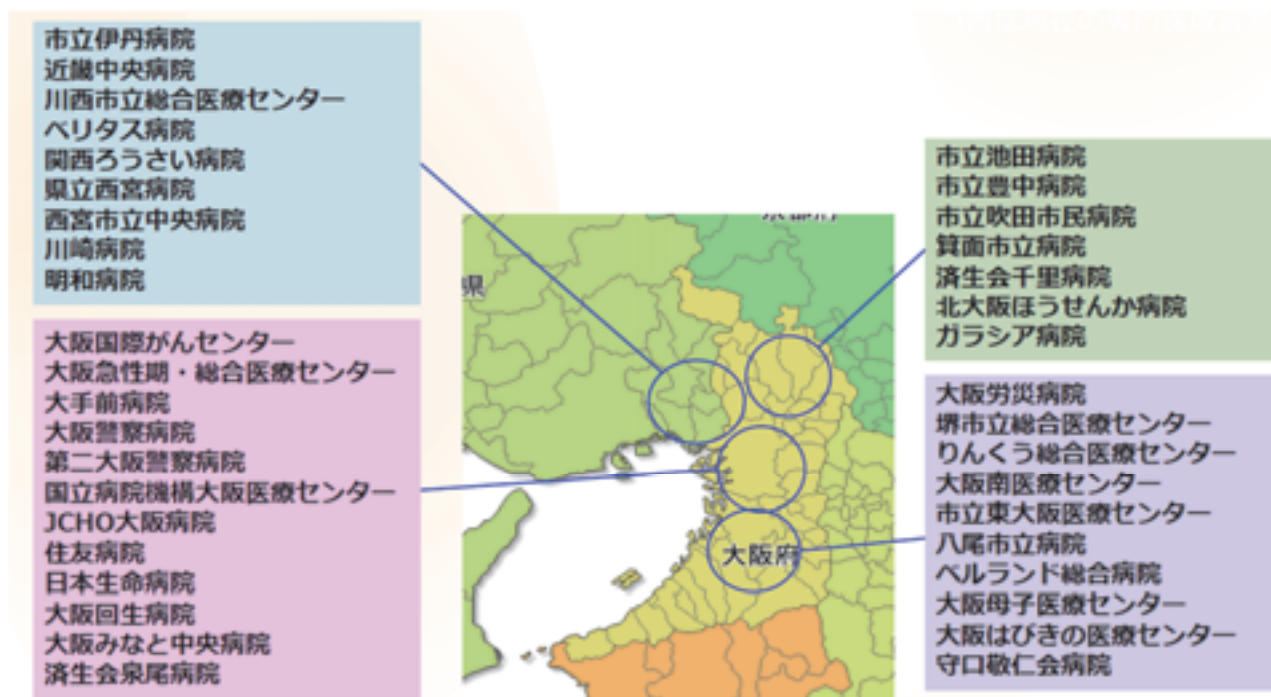
また、当科のサブスペシャリティ重点コースでは、3年目より大学院に進学し、研究を早くから開始することもできます。当科ではこれまでに、下記のような内科学・糖尿病学・内分泌学の教科書に載る世界一流の研究実績を有しています。

- ・内臓脂肪症候群 (Visceral Fat Syndrome) : メタボリックシンドローム概念発祥の地
- ・アディポネクチン (Adiponectin) : 脂肪細胞由来ホルモンであるアディポネクチンの発見とアディポサイトカイン概念の提唱
- ・転写因子 MafA : 最も強力なインスリン転写因子であり膵β細胞再生にも重要な因子の発見
- ・劇症1型糖尿病 (Fulminant Type 1 Diabetes) : 1型糖尿病の新たな subtype (疾患 entity) の確立
- ・グルココルチコイドによる TSH 不適切分泌症候群 : 新たな内分泌疾患概念の提唱

研究を早くから開始したい専攻医には、大学院に入学してもらい、内科専門研修と並行して、こうした一流の研究にも参加してもらうようにいたします。

(2) コースの概要

大阪大学医学部附属病院内科専門研修プログラムの連携施設、大阪大学医学部附属病院が連携施設として参加しているプログラムの基幹施設については、1~2ページをご参照ください。次頁は、当科のサブスペシャリティ専門医を取得する際にローテートする、あるいは専門医取得後に専門医として活躍していただける関連施設です。大阪府下および阪神地区に多数の関連施設を有しています。



(3) コースの実績

大阪大学医学部附属病院および関連施設（多くが日本糖尿病学会ないし日本内分泌学会の認定教育施設）において、多数の糖尿病患者、代謝疾患患者、内分泌疾患患者を診療経験することができます。阪大病院では、外来管理糖尿病患者数は40,000人以上、年間入院糖尿病患者数は1,000人におよびます。また年間入院内分泌疾患患者数も300人におよびます（※患者数はすべて延べ）。内分泌代謝臨床に関する学会発表は年間100件におよび、英文学術論文数も数十本におよびます。毎年3～6名の学位取得者、数名の専門医取得者がいます。

(4) コースの指導状況

大阪大学医学部附属病院糖尿病・内分泌・代謝内科においては、47名の糖尿病専門医、14名の糖尿病研修指導医、17名の内分泌代謝科専門医、6名の内分泌代謝科研修指導医が所属し、研修医の指導にあたっています。各関連施設においては1名以上のサブスペシャルティの研修指導医が常駐し、2～5名のスタッフで研修指導を行っています。また関連施設共同で、OEMCC（大阪内分泌代謝クリニカルカンファレンス）を年1回開催し、研修指導を強化しています。

(5) 専門医の取得等

当科で取得可能なサブスペシャルティ専門医は、学会認定の糖尿病専門医、内分泌代謝科専門医の他、肥満症専門医、動脈硬化専門医、甲状腺専門医の他、日本専門医機構認定の内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医です。内科専門医を取得後は、こうしたサブスペシャルティ専門医取得を目指して研修を継続します。また、研究志向のある研修医は、大阪大学大学院医学系研究科の大学院生または研究生として、臨床研究または基礎医学研究を行い、医学博士の取得を目指します。あるいは、関連施設で臨床医として活躍しつつ、大学と連携をとりながら臨床研究を行い、論文博士を取得することも可能です（社会人大学院生）。専門医や学位取得後は、各人の適正と希望に応じて、研究・臨床・教育の各現場で、後輩の指導にあたるとともに、第一線のプロフェッショナルとしてのキャリアを積んでいくことになります。

問い合わせ先

■大阪大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・代謝内科

担当者 小澤 純二

✉ kensyu@endmet.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/endmet/www/home/course.html>

